

健康づくりは
幸せづくり

Making Health
is making happiness



第58期

株主通信

平成23年4月1日～平成24年3月31日

Contents

| | |
|----------------|------|
| 株主の皆様へ | P.1 |
| 営業の概況（連結） | P.3 |
| 研究開発の状況 | P.5 |
| 研究開発パイプライン | P.6 |
| 生産物流の状況／次期の見通し | P.7 |
| 株主様ご優待のお知らせ | P.8 |
| トピックス | P.9 |
| 財務諸表（連結） | P.11 |
| 会社情報 | P.13 |
| 株式情報 | P.14 |
| 株主メモ | |



ゼリア新薬
ZERIA



代表取締役社長
伊部 幸顕



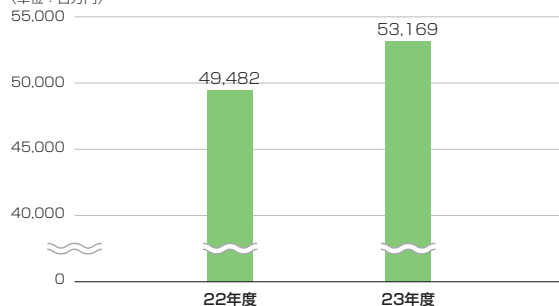
Z・E・R・I・A Five コーポレートスピリッツ/企業理念

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第58期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

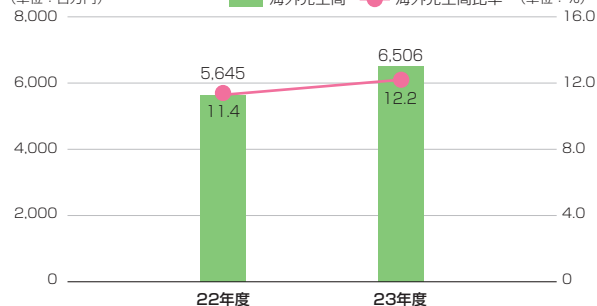
売上高

(単位：百万円)



海外売上高／海外売上高比率

(単位：百万円)



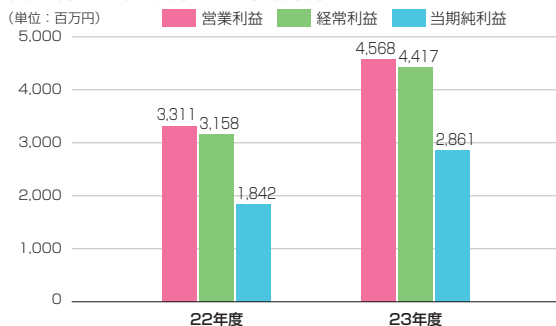
医療用医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が継続して推進され、またOTC医薬品市場におきましても、個人消費の低迷から国内市場の減退傾向が続くなど、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは「グローバル企業としての基盤づくり」と位置付けた平成23年度を起点とする3カ年の第7次中期経営計画（平成23年度～平成25年度）をスタートさせました。初年度である当連結会計年度では、国内におきましては、従来より「車の両輪」として捉えております医療用医薬品事業とコンシューマーヘルスケア事業を発展の軌道に乗せる年として、積極的に経営資源の投入を行うとともに、海外におきましては、グループ企業の営業体制の強化とアジア地域における当社製商品の販売開始に向けて積極的な展開を図ってまいりました。

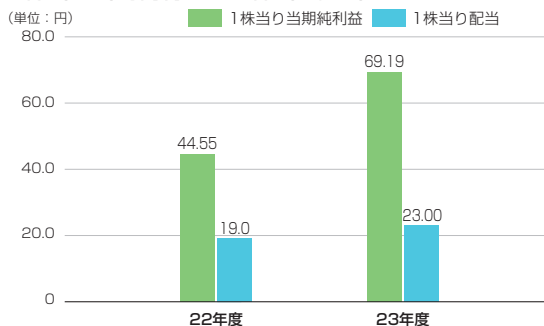
これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は、531億69百万円（前期比7.5%増）、営業利益45億68百万円（前期比38.0%増）、経常利益44億17百万円（前期比39.8%増）、当期純利益28億61百万円（前期比55.3%増）となりました。

なお、当連結会計年度の海外売上高比率は12.2%（前期11.4%）となっております。

営業利益／経常利益／当期純利益

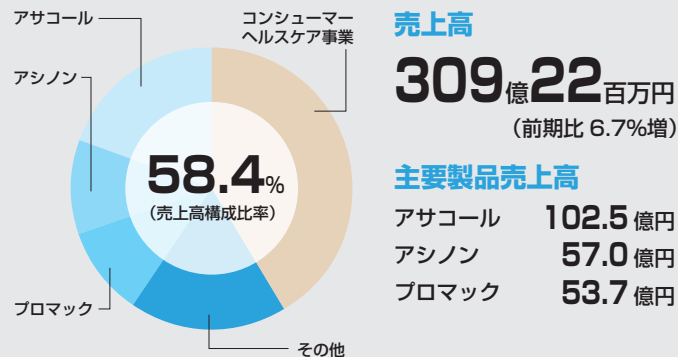


1株当り当期純利益／1株当り配当



営業の概況（連結）

医療用医薬品事業



当事業におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR（医薬情報担当者）の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。

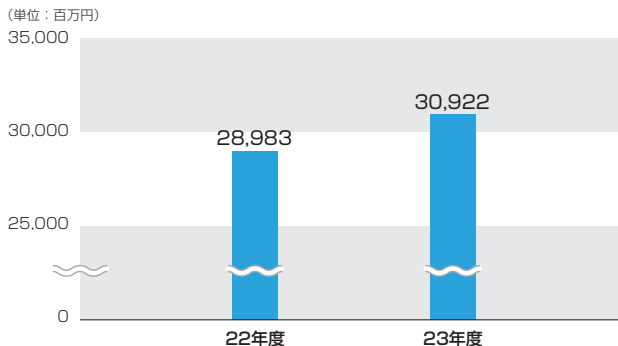
主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、海外におきましては、ティロットツ・ファーマ社（Tillotts Pharma AG、以下「Tillotts社」）の自販体制の推進による営業力強化により売上を拡大いたしました。さらに、国内におきましても、平成23年1月より長期処方が可能となったことを受

け、市場浸透に一層注力した結果、売上を大きく拡大いたしました。また、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」も堅調に推移いたしました。一方、H₂受容体拮抗剤「アシノン®」などの製品は、市場競争の激化を受けて苦戦いたしました。

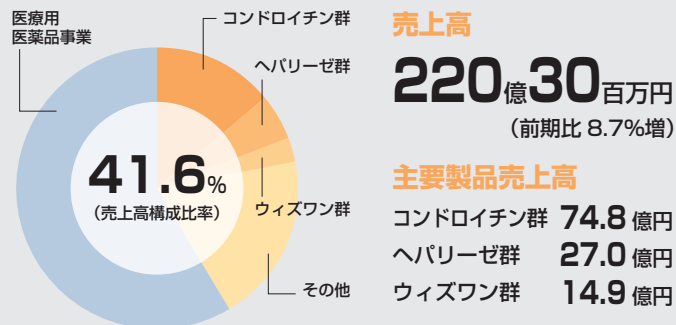
これらの結果、当事業の売上高は、309億22百万円（前期比6.7%増）となりました。



医療用医薬品事業連結売上高



コンシューマーヘルスケア事業



当事業におきましては、超高齢社会が進展する中、生活者のセルフメディケーションをサポートする製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

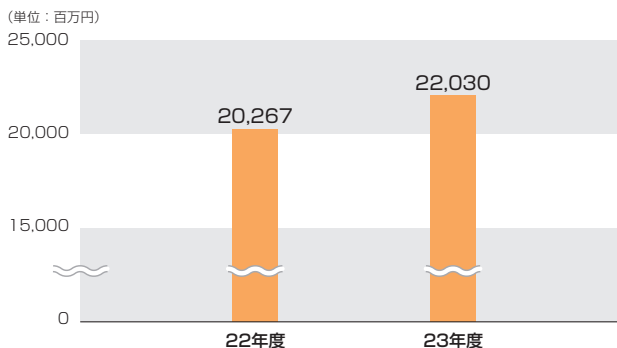
なかでも主力製品群である「コンドロイチン群」、滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」、植物性便秘薬「ウイズワン®群」において、テレビCMおよびそれに連動した店頭販売促進活動を積極的に実施いたしました。その結果、滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」、植物性便秘薬「ウイズワン®群」は大きく売上を拡大し、

「コンドロイチン群」も堅調に推移いたしました。また、滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」におきましては、平成23年11月より新たな販売ルートであるコンビニエンスストア向け新製品として「ヘパリーゼ®W」（清涼飲料水）を発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、220億30百万円（前期比8.7%増）となりました。



コンシューマーヘルスケア事業連結売上高



研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績のある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

最重点領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、Tillotts社より導入した「Z-206 (アサコール®)」は、協和発酵キリン株式会社と共同でクローン病を対象としたフェーズⅡを実施中であります。また、中国での開発につきましては、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを進めております。

日米欧3極で開発を進めております自社オリジナル品の「Z-338 (予定製品名「アコファイド®)」につきましては、国内において前連結会計年度に実施した機能性ディスペプシアを適応症とする製造販売承認申請に対する審査が進行中です。また、欧州における開発につきましては、フェーズⅢ開始に向けた準備を進めております。

「Z-103 (プロマック®)」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。また、韓国SKケミカル社が胃潰瘍・胃炎治療剤として韓国で承認を取得した「プロマック® 顆粒 15%」につきましては、同国内での販売開始に向けて準備を進めております。

「Z-100」につきましては、平成24年度での終了に向けて子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き

進めております。

「Z-360」につきましては、欧州において膀胱癌に対するフェーズⅠb/Ⅱaを終了し、フェーズⅡ開始に向けた準備を進めております。また、国内におきましても、アジア同時開発を念頭に臨床試験開始に向けた準備を進めております。テムリック株式会社より導入した肝細胞癌用剤「Z-208」につきましては、従来より進めてまいりましたフェーズⅠ/Ⅱを終了いたしました。試験結果を総合的に勘案し、次相試験には進まず開発を中止することいたしました。

さらに、経口リン酸塩製剤「Z-521 (予定製品名「ホスリボン®)」は、原発性低リン血症性くる病を対象としたフェーズⅢを終了し、希少疾病用医薬品として指定を受けるとともに、製造販売承認申請を行いました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、Tillotts社より導入した「コルペルミン」をはじめ西洋ハーブ製剤の開発を進めるとともに、「ヘパリーゼ® W」、「新ウィズワン®」などの新製品を順次発売いたしました。

なお、当連結会計年度の研究開発費は、53億8百万円(前期比0.5%増)となりました。

研究開発パイプライン

● 研究開発の状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

| 開発段階 | 開発番号/一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序及び特長 | 備考 |
|----------|-------------------|-------------------|---------------------|-------------------------------|----------------------|
| 申請中 | Z-338/ アコチアミド | 共同開発 (アステラス製薬) | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動改善作用 | 自社品 予定製品名 アコファイド® |
| フェーズⅢ | Z-103/ ポラブレジンク | 自社 | 味覚障害 プロマック®効能追加 | 亜鉛補充 | 導入品 |
| フェーズⅡ | Z-206/ メサラジン | 共同開発 (協和発酵キリン) | クローン病 アサコール®効能追加 | pH依存型放出調整製剤 | 自社(Gr)品 |
| フェーズⅠ準備中 | Z-360 | 自社 | 膵臓癌 | ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用 | 自社品 アジア同時開発 |

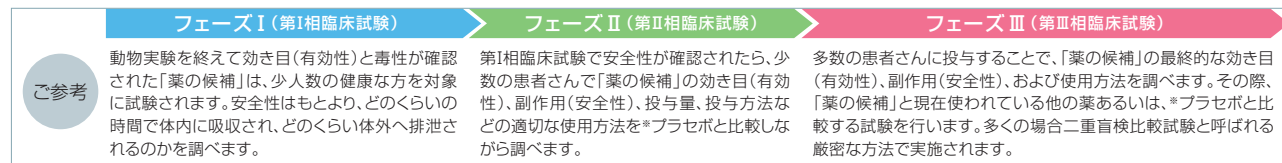
2) その他の分野

| 開発段階 | 開発番号/一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序及び特長 | 備考 |
|---------------|----------|----|----------------------|---------------------------------|---------------------|
| 申請中 | Z-521 | 自社 | くる病・骨軟化症を伴う 低リン血症 | リン酸補充 未承認薬開発支援対象 希少疾病用医薬品 | 自社品 予定製品名 ホスリボン® |
| フェーズⅢ 追加試験 | Z-100 | 自社 | 子宮頸癌 | 免疫調節作用 | 自社品 |

II. 海外開発状況

| 開発段階 | 開発番号/一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序及び特長 | 備考 |
|-----------------------|-------------------|---------------------------|------------------|-------------------------------|---------|
| 承認 (韓国) | Z-103/ ポラブレジンク | 導出 (SK Chemicals) | 胃炎・胃潰瘍 プロマック® | 胃粘膜保護作用 | 導入品 |
| フェーズⅢ (中国) | Z-206/ メサラジン | 共同開発 (Tillotts Pharma) | 潰瘍性大腸炎 アサコール® | pH依存型放出調整製剤 | 自社(Gr)品 |
| フェーズⅢ準備中 (欧州) | Z-338/ アコチアミド | 自社 | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動改善作用 | 自社品 |
| フェーズⅡ終了 (北米) | Z-338/ アコチアミド | 自社 | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動改善作用 | 自社品 |
| フェーズⅡ準備中 (欧州, アジア) | Z-360 | 自社 | 膵臓癌 | ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用 | 自社品 |

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品



*プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進めてまいりました。生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。一方、物流関連部門では、物流業務のアウトソーシングを実施する中、さらなる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、当連結会計年度は「アサコール®」、「ヘパリーゼ®群」、「ウィズワン®群」等の主力製品の売上の伸びにより、埼玉、筑波両工場の生産実績が大きく増加し、ドリンク剤ならびに錠剤の生産ラインはほぼフル稼働の状況となりました。今後とも上記製品群の生産増加が予想されるなか、効率的な生産体制の構築に一層注力してまいります。

● クローズアップ

「ヘパリーゼ® W (ダブル)」新発売

平成23年11月22日、肝臓エキス、ウコンエキス、黒コショウ抽出物などを配合した、飲む人のための健康サポートドリンク「ヘパリーゼ® W (ダブル)」(清涼飲料水)を、コンビニエンスストア専売品として全国で販売を開始いたしました。美味しく飲めるすっきりとしたパイナップル味です。

平成24年4月からは、「新ヘパリーゼ®ドリンク」のCMでお馴染みの川平慈英さんを引き続き起用したCMも放映。ヘパリーゼ®のラインアップにコンビニエンスストアで手軽にお求めいただける「ヘパリーゼ® W (ダブル)」を加え、ヘパリーゼ®ブランドのさらなる成長戦略を展開してまいります。



● 次期の見通し

平成25年3月期(平成24年度)の連結業績予想につきましては、売上高560億円(前期比5.3%増)、営業利益46億円(前期比0.7%増)、経常利益45億円(前期比1.9%増)、当期純利益32億円(前期比11.8%増)となる見込みです。

売上高

医療用医薬品事業におきましては、本年4月に実施された薬価改定による影響はあるものの、主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」の国内外における売上拡大等により、増収を見込んでおります。また、コンシューマーヘルスケア事業におきましても、「コンドロイチン群」、滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」、植物性便秘薬「ウィズワン®群」を中心に積極的な広告展開を予定しており、ゼリアブランドのさらなる認知度向上とともに売上拡大を見込んでおります。

利益

利益面におきましては、売上高の増加による増益を見込んでおりますが、研究開発投資をはじめ、アジア地域への事業展開に伴う先行投資、コンシューマーヘルスケア製品群の広告宣伝投資等による費用増により、わずかな伸びに止まる見込みです。

| | 第58期 | 第59期(予想) |
|-------|-----------|----------|
| 売上高 | 531億69百万円 | 560億円 |
| 営業利益 | 45億68百万円 | 46億円 |
| 経常利益 | 44億17百万円 | 45億円 |
| 当期純利益 | 28億61百万円 | 32億円 |

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っております。このたび、従来の優待品Aコース及びDコースの内容を変更し、平成24年3月末基準日から実施いたします。A～E 5つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしく願い申し上げます。

A
コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・特定保健用食品
「アルミ缶入りドリンク詰め合わせ・ヘパリーゼ®Wセット」



B
コース

健康飲料
「コンドロビー®濃縮液
潤甦®(じゅんこう) 2本セット



C
コース

美容・健康商品
「コンドロマックス®・アプスティー®セット」



D
コース

コンドロイチン配合夜間集中美容液
「ZZ:CC®(ジージー・シーシー)
アドソープエッセンス(30g)」
2本セット



E
コース

上質なうるおいを実感する3品目
「IONAベーシックスキンケア3点セット」



「新ウィズワン®」発売&CM記者発表会



平成24年1月に発売された植物性便秘薬「新ウィズワン®」（指定第2類医薬品）の発売&CM記者発表会が3月14日に開催されました。

「新ウィズワン®」は、昭和62年より販売し、好評をいただいている植物性便秘薬「ウィズワン®」のリニューアル品です。このシリーズは、「自然なお通じを再現する」というコンセプトのもと、便秘に悩む皆様にご満足いただいております。新規購入におけるリピート率が高い製品（※）です。今回発売の「新ウィズワン®」は、その特長である“やさしくしっかり”の効きめと飲みやすさをさらに改良した製品です。

記者発表会では、まず、当社の多胡常務取締役から「新ウィズワン®」の製品説明がなされました。「新ウィズワン®」は独自の製剤技術により従来品に比べ膨潤力を大幅に高めるとともに、腸のぜん動運動を促す成分として、センノシドに加え新たにカスカラサグラダも配合。また、服用量も従来品より4割低減し、さらに飲みやすくした製品です。

続いて今回制作されたCMの発表が行われました。“やさしく”をイメージする、現在2児の母であるカリスマ主婦アイドル・辻希美さん、“しっかり”をイメージする、各番組司会等で活躍の新妻・矢口真里さんを、便秘薬としては初めてCMに起用いたしました。

会場には60名もの取材記者が来場し、終始明るい雰囲気の中、会見が行われ、その様子は多くのメディアに取り上げられました。

CMは「コワくない篇」「らしいぞ篇」の2パターンあり、いずれも便秘薬という概念を打ち破る、明るく楽しいCMに仕上がりに、発表会翌日の3月15日より全国で放映が開始されました。

（※：「カスタマー・コミュニケーションズ（株）ミニカフェEX」調べ）



Z-521（予定製品名「ホスリボン®」）製造販売承認申請

平成24年3月、「くる病・骨軟化症を伴う低リン血症」を適応症とする経口リン酸塩製剤「Z-521」（予定製品名：「ホスリボン®配合顆粒」、有効成分：リン酸二水素ナトリウム一水和物および無水リン酸水素二ナトリウム）について、厚生労働省に製造販売承認申請いたしました。

腎臓からのリン排泄亢進や消化管からの吸収低下といった原因で低リン血症が長期にわたって持続すると、骨の成長および石灰化が障害され、骨変形や低身長、著明な骨痛や筋力低下、易骨折性といった症状を来す「くる病・骨軟化症」を発症します。このような低リン血症の主な原因疾患である「原発性低リン血症性くる病」、「腫瘍性骨軟化症」、「ファンコニ症候群」および「未熟児くる病」の患者数は国内で合計3,500から7,000人程度と推計されていることから、「Z-521」は希少疾病用医薬品の指定も受けております。

当社では、難病対策は製薬企業としての社会的責務であると考えており、「Z-521」が本疾患に苦しむ患者さんへ貢献できるものと期待しております。

市民公開講座開催

平成23年9月4日に潰瘍性大腸炎に関する市民公開講座を「TOKYO IBD患者会」と共催いたしました。参加者は患者会会員およびその家族約50名で、慶應義塾大学病院・矢島先生から、潰瘍性大腸炎について講演が行われました。当日は患者さんからの質疑が活発に行われ、患者さんは製薬メーカーからの情報提供を切に望んでいることがわかりました。

また、平成24年2月12日には「日本神経消化器病学会」と共催の市民公開講座「あなたの胃腸は大丈夫？」を開催し、一般市民の方約120名に参加いただきました。機能性胃腸症（＝機能性ディスペプシア）などに関する話題について、順天堂大学医学部・佐藤先生をはじめとする専門の先生方がわかりやすく講演されました。参加者へのアンケートでは7割近くの方がこの講演で初めて機能性胃腸症を知ったとのことで、まだまだ認知度が低い疾患であることがわかりました。

今後も患者さんのニーズに応える情報提供活動・疾患啓蒙活動を継続してまいりたいと考えております。



財務諸表（連結）

連結貸借対照表（要旨）

| 科 目 | 期 別 | |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| | 前連結会計年度 平成23年3月31日現在 | 当連結会計年度 平成24年3月31日現在 |
| 【資産の部】 | | |
| 流動資産 | 25,167 | 27,223 |
| 現金及び預金 | 4,949 | 5,713 |
| 受取手形及び売掛金 | 12,309 | 12,605 |
| たな卸資産 | 5,234 | 6,068 |
| 繰延税金資産 | 734 | 862 |
| その他 | 1,966 | 1,994 |
| 貸倒引当金 | △27 | △21 |
| 固定資産 | 48,611 | 47,977 |
| 有形固定資産 | 21,537 | 21,048 |
| 建物及び構築物 | 6,694 | 6,510 |
| 機械装置及び運搬具 | 2,933 | 2,613 |
| 土地 | 11,563 | 11,561 |
| 建設仮勘定 | 66 | 1 |
| その他 | 278 | 361 |
| 無形固定資産 | 13,929 | 13,107 |
| 投資その他の資産 | 13,143 | 13,821 |
| 投資有価証券 | 8,499 | 9,767 |
| 繰延税金資産 | 1,391 | 1,401 |
| その他 | 3,318 | 2,718 |
| 貸倒引当金 | △65 | △65 |
| 資産合計 | 73,779 | 75,201 |

（単位：百万円、端数切捨て）

| 科 目 | 期 別 | |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| | 前連結会計年度 平成23年3月31日現在 | 当連結会計年度 平成24年3月31日現在 |
| 【負債の部】 | | |
| 流動負債 | 29,989 | 24,826 |
| 支払手形及び買掛金 | 3,364 | 3,344 |
| 短期借入金 | 19,943 | 14,838 |
| その他 | 6,681 | 6,643 |
| 固定負債 | 15,365 | 19,880 |
| 社債 | 200 | — |
| 長期借入金 | 14,381 | 19,123 |
| 退職給付引当金 | 177 | 146 |
| 資産除去債務 | 71 | 72 |
| その他 | 534 | 538 |
| 負債合計 | 45,355 | 44,706 |
| 【純資産の部】 | | |
| 株主資本 | 30,361 | 32,345 |
| 資本金 | 6,593 | 6,593 |
| 資本剰余金 | 5,414 | 5,414 |
| 利益剰余金 | 25,656 | 27,649 |
| 自己株式 | △7,303 | △7,312 |
| その他の包括利益累計額 | △2,040 | △1,995 |
| その他有価証券評価差額金 | △2,037 | △1,472 |
| 繰延ヘッジ損益 | 15 | 4 |
| 為替換算調整勘定 | △17 | △527 |
| 少数株主持分 | 102 | 144 |
| 純資産合計 | 28,423 | 30,494 |
| 負債・純資産合計 | 73,779 | 75,201 |

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

| 科目 | 期別 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|----------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで | 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで |
| 売上高 | | 49,482 | 53,169 |
| 売上原価 | | 18,442 | 18,547 |
| 売上総利益 | | 31,039 | 34,622 |
| 返品調整引当金戻入額 | | 169 | 137 |
| 返品調整引当金繰入額 | | 137 | 112 |
| 差引売上総利益 | | 31,072 | 34,646 |
| 販売費及び一般管理費 | | 27,760 | 30,078 |
| 営業利益 | | 3,311 | 4,568 |
| 営業外収益 | | 478 | 367 |
| 営業外費用 | | 631 | 518 |
| 経常利益 | | 3,158 | 4,417 |
| 特別利益 | | 26 | 336 |
| 特別損失 | | 422 | 72 |
| 税金等調整前当期純利益 | | 2,762 | 4,681 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 1,146 | 1,837 |
| 法人税等調整額 | | △217 | △72 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | | 1,834 | 2,916 |
| 少数株主損失（△） | | △8 | 55 |
| 当期純利益 | | 1,842 | 2,861 |

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円、端数切捨て）

| 科目 | 期別 | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで | 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 5,847 | 6,028 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △7,292 | △2,566 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | 2,838 | △2,433 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | △18 | △264 |
| 現金及び現金同等物の増加額 | | 1,375 | 763 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 3,442 | 4,817 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | | 4,817 | 5,581 |

連結株主資本等変動計算書（要旨）

（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）

（単位：百万円、端数切捨て）

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 少数株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|------------------|-------------|--------------|-------------------|--------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | その他の包括 利益累計額合計 | | |
| 平成23年4月1日期首残高 | 6,593 | 5,414 | 25,656 | △7,303 | 30,361 | △2,037 | 15 | △17 | △2,040 | 102 | 28,423 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △868 | | △868 | | | | | | △868 |
| 当期純利益 | | | 2,861 | | 2,861 | | | | | | 2,861 |
| 自己株式の取得 | | | | △9 | △9 | | | | | | △9 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額） | | | | | | 565 | △10 | △509 | 45 | 42 | 87 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | - | - | 1,992 | △9 | 1,983 | 565 | △10 | △509 | 45 | 42 | 2,071 |
| 平成24年3月31日期末残高 | 6,593 | 5,414 | 27,649 | △7,312 | 32,345 | △1,472 | 4 | △527 | △1,995 | 144 | 30,494 |

会社情報 (平成24年3月31日現在)

会社概要

| | |
|--------|---|
| 創立 | 1955年12月 |
| 資本金 | 6,593,398,500円 |
| 社員数 | 1,297名(連結) |
| 主な事業内容 | 1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売及び輸出入 |

役員 (平成24年6月28日現在)

| | |
|---------|-----------|
| 代表取締役社長 | 伊 部 幸 顕 |
| 専務取締役 | 齋 藤 武 |
| 専務取締役 | 遠 藤 広 和 |
| 専務取締役 | 降 旗 繁 弥 |
| 常務取締役 | 多 胡 充 弘 |
| 常務取締役 | 菅 幹 雄 |
| 常務取締役 | 森 山 茂 |
| 取締役 | 大 野 晃 |
| 取締役 | 岸 本 誠 |
| 取締役 | 平 賀 義 裕 |
| 取締役 | 石 井 克 幸 |
| 取締役 | 加 藤 博 樹 |
| 取締役 | 横 手 秀 和 |
| 取締役 | 林 恭 弘 |
| 取締役 | 蟹 口 昭 宏 |
| 常勤監査役 | 花 田 雅 彦 |
| 常勤監査役 | 高 見 幸 二 郎 |
| 監査役 | 小 森 哲 夫 |
| 監査役 | 中 由 規 子 |

事業所

| | |
|---|------------|
| ● 本社 | ● 京滋北陸営業所 |
| ● 札幌支店 | ● 中四国支店 |
| ● 仙台支店 | ● 岡山営業所 |
| ● 東京支店 | ● 高松営業所 |
| ● 東京第3営業所 | ● 福岡支店 |
| ● 神奈川営業所 | ● 中央研究所 |
| ● 埼玉営業所 | ● 埼玉工場 |
| ● 千葉営業所 | ● 筑波工場 |
| ● 北関東営業所 | ● 東京物流センター |
| ● 甲信越営業所 | ● 札幌物流センター |
| ● 名古屋支店 | ● 埼玉物流センター |
| ● 大阪支店 | ● 大阪物流センター |
| ● 大阪第2営業所 | ● 九州物流センター |
| ● 神戸営業所 | |
| ● 出張所 | |
| 青森・宇都宮・関越・静岡・金沢・山口・米子・松山・高知・長崎・熊本・大分・鹿児島・沖縄 | |

連結子会社 5社

Tillotts Pharma AG

| | |
|------|------------------------------------|
| 資本金 | 164万スイスフラン(持株比率100%) |
| 事業内容 | IBD(炎症性腸疾患)及びIBS(過敏性腸症候群)治療剤の製造・販売 |

ゼリアヘルスウエイ株式会社

| | |
|------|-----------------|
| 資本金 | 85百万円(持株比率100%) |
| 事業内容 | 健康食品の仕入・販売 |

Biofac Esbjerg A/S

| | |
|------|---------------------------------|
| 資本金 | 100万デンマーククローネ(持株比率85%) |
| 事業内容 | 医薬品原薬を中心としたコンドロイチン硫酸ナトリウムの製造・販売 |

イオナ インターナショナル株式会社

| | |
|------|------------------|
| 資本金 | 2億円(持株比率100%) |
| 事業内容 | 化粧品・医薬部外品の製造・販売他 |

株式会社ゼービス

| | |
|------|-------------------|
| 資本金 | 1億80百万円(持株比率100%) |
| 事業内容 | 保険代理業・不動産業など |

株式情報 (平成24年3月31日現在)

株式の状況

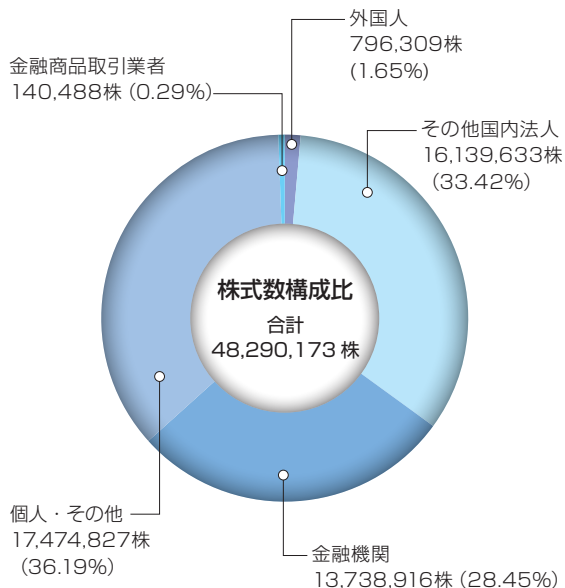
| | |
|-----------|--------------|
| ①発行可能株式総数 | 119,860,000株 |
| ②発行済株式総数 | 48,290,173株 |
| ③株主数 | 3,187名 |

大株主

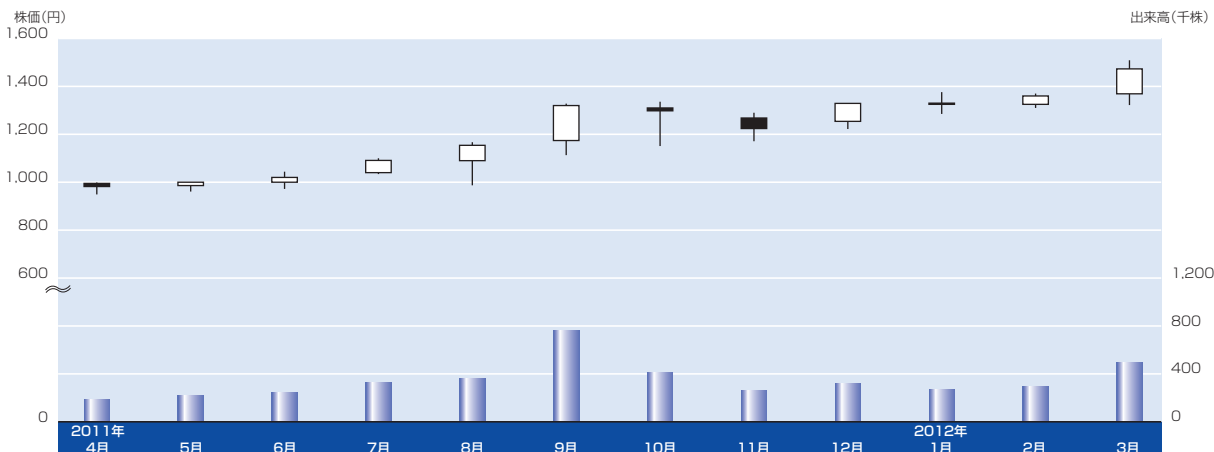
| 株主名 | 持株数(株) | 出資比率(%) |
|-------------------------------|-----------|---------|
| 有限会社伊部 | 5,510,770 | 13.3 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 1,964,000 | 4.8 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,915,500 | 4.6 |
| 森永乳業株式会社 | 1,854,741 | 4.5 |
| ゼリア新薬工業従業員持株会 | 1,622,825 | 3.9 |
| 伊部幸顕 | 1,447,425 | 3.5 |
| 株式会社三井住友銀行 | 1,278,301 | 3.1 |
| 株式会社みずほ銀行 | 1,278,230 | 3.1 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,074,896 | 2.6 |
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 858,691 | 2.1 |

(注) 出資比率については、自己株式(6,945,027株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価および出来高の推移



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月下旬
- 基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 「配当金計算書」について
配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別
措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う
際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、「配
当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主
様は大切に保管ください。

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>




株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4559

いいかぶ 検索

 空メールによりURL自動返信
kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で感謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



*本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツーメディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>
*ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

● アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」
TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
MAIL: info@e-kabunushi.com